

## 1. 被害把握について

### (1) 委員の意見

- ①道路の被害が目立つ、雪解けとともに撮影等、写真添付(渡辺利)
- ②被害状況と同時に被害額の提示(関谷)
- ③罹災証明の発行に際しての調査の実態とその後の状況把握(松尾)

意向調査問3の回答と併せて検討が必要。被害額と住み続けるための必要額との乖離。被害額の算定方法にも問題はないか。

- ④ある時点での被害、それ以上のものもある。被害の全体が見えない。役場各担当が把握している被害、その問題点の集約化が必要(加藤)

### (2) 第2回委員会での取り扱い

- ①第2回委員会で「被害状況について」で報告する。
- ②住宅等建物被害、農地の被害、道路等の被害について、震災被害の特性に基づいた図表の表示方法を示す(資料2として提示)。
- ③その一例として、いくつかの集落の状況について、図示した。
- ④これらを例として、議論する。

## 2. 集落懇談会について

### (1) 意見

- ①懇談会出席者の内容、細かい調査が必要(広瀬)
- ②参加するのは年寄りばかり、開催時間からすれば老人だけ。若い人が何を考えているかを把握することが必要(加藤)
- ③公民館に全員を集めたのでは、しゃべりにくい。婦人達は絶対にでない。いくつかのパターンに分けて実施することが必要(渡辺(加))
- ④集落単位ではなく、もう少し大きい単位での開催など工夫を(松尾)

### (2) 委員長の考え

- ①意向調査結果によって、多くの問題が存在し、集落ごとの差異が大きいことが分かった。
- ②各集落の問題を把握した上で、集落単位での勉強会的な会合が必要と考える。
- ③今後の集落懇談会の実施方法については、役場に検討を求める。

## 3. 意向調査結果について

### (1) 意見

- ①自由記述部分の集計が欲しい。  
集落単位、又は集落ブロック別の特徴把握が必要(村山)
- ②整理したデータだけではなく、生のデータが欲しい(松尾)

### (2) 対応と委員長の考え

- ①第2回委員会で、委員に対して自由記述項目の全てを送付して、検討を依頼した。
- ②問題点を解析し、復興計画作成に反映できるよう、議論を深めたい。

#### 4. 復興計画の構成、復興計画の考え方等について

##### (1) 意見

- ①総合振興計画と復興計画との関係。被災されないところは(秋山地区)、総合振興計画の通りで良いのではないか(相沢)
- ②農地の復旧工事、この際2枚を1枚にして復旧すれば、将来的に良いのでは。再度整備をするのはいかがか(広瀬)
- ③農地の復旧については、中山間地域ではこうしたことが多い。中山間地域の特有の事情をふまえた県の中山間地域のモデル事業をやったらどうか(松尾)
- ④被災者の立場に立った復興計画、住民が主体だということを明確にして欲しい、言葉として表記して欲しい(広瀬)
- ⑤「安全環境の確保」の中に、豪雪と云うのが入っていない。一番の問題が豪雪。災害＋雪問題(相沢)
- ⑥雪問題についての言葉が一つもない。意識が弱い証拠だ。雪問題を、資源の中だけではなく安全の問題に入れて欲しい(広瀬)。

##### (2) 委員長の考え

- ①本計画の構成、考え方については、了解を得た。しかし、各委員からの提案を見ると、本計画の性格、考え方などに対して、各委員の考えに差異があるため、議論を一層深めていきたい。
- ②第2回委員会の検討項目の中に、組み込めるものは組み込んだ。
- ③本復興計画が、目指すのは構想計画、基本計画レベルのもの。各委員の意見を見ると、実施計画や事業計画レベルに関わるものも入っている。復興計画における構想計画－基本計画－実施計画－事業計画の4段階に関する認識を整理しておきたい。  
(参考資料を添付した)

以上